

須坂市教育委員会 7 月定例会 会議録

1 日 時 2025年 7 月29日（火）午後 2 時 ～ 4 時00分

2 場 所 人権交流センター 2階 大会議室

3 出席した委員

教育長	勝山 幸則
教育長職務代理者	二ノ宮邦彦
教育委員	村石 忍
教育委員	湯本 理恵
教育委員	青木 十郎

4 説明のため出席した職員

教育次長	中村 健司
学校教育課長	若林 久人
子ども課長補佐	窪田 潤一
人権同和教育課長	高橋 克彦
文化スポーツ課長	寺沢 隆宏
生涯学習推進課長	寺澤 勝志
学校給食センター所長	村石 孝子
主任指導主事	後藤 昭彦
指導主事	北村 雅
指導主事	松木 智子
指導主事	西原 秀明
指導主事	宮崎 健
指導主事	松澤 裕子

5 事務局出席職員

庶務係長	宮崎 裕喜
庶務係	返町 美里

6 本日の会議に付した事項

(1) 学校等の状況報告について

(2) 議題

議案第43号 須坂市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

議案第44号 須坂市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について

議案第45号 須坂市公民館運営審議会委員の委嘱について

(3) 協議

キャリア教育について 青木 十郎 教育委員

(4) 一般行政報告

ア 教育長出席行事の報告について

イ 行事共催等承認の報告について

ウ 6月定例会市議会の報告について

エ その他

(5) その他

ア 教育委員会行事予定について

イ 須坂市教育委員会主催・共催大会等への出席について

ウ 教育委員会歓送迎会の開催について

エ その他

教育長が開会を宣した。

(1) 学校等の状況報告について

教育長が説明を求め、主任指導主事が説明した。

- ・ 7月1日現在小学校3名増、中学校増減なし。
- ・ 学校事故について、体罰が疑われる事案が1件あった。
- ・ 家庭内を含め児童、生徒、職員で暑さのための救急搬送が3件あった。
- ・ 児童生徒の欠席状況について、小学校の不登校は12名。昨年度同時期は16名。中学校は34名。昨年度同時期は26名。

- ・昨年度小学校 6 年生の不登校が多かったが、それが中学校で引き続き不登校となっている。
- ・新たに不登校となった児童生徒について、小学校 1 年生が 1 名、中学 1 年生で 1 名の計 2 名となった。

教育相談について指導主事より報告があった。

- ・今年度 6 月 20 日締切。93 件の申し込みがあり、昨年度から 14 名増加。
- ・内訳について 6 年生が今年度 50 名。5 年生での入級が昨年度多かったため、6 年生になっても引き続き入級を希望する児童生徒が多かった。
- ・特別支援学級の自情障学級への入級希望が多い。
- ・今年度の傾向として、来入児の教育相談は昨年度と同数となった。すこやか教育相談での早期からの相談、幼保小の連携の強化などもあるが、ローアベレージ子どもたちの増加を見ると、幼児の発達状況のとらえ方を検討する必要がある。
- ・コロナ禍で乳幼児の発達が遅れたとされているが、令和 5 年度コロナの開始からローアベレージ等増加している。
- ・申し込み後に成長が著しく見られる児童もあり、入学後の様子を見るなど子どもたちの社会性の発達を見て検討していきたい。校内支援委員会で再度検討するなど見直しを定期的に入れていく体制を整えたい。
- ・6 年生の就学判断が 50 名となり、昨年度の 1.5 倍となっている。ことばの教室は 6 年生で終了となるが、何名かは引き続き中学校で LD（まなびの教室）への入級となっている。
- ・今年度申し込みの自情障学級では、継続 23 名、退級 2 名、知障学級への変更が 2 名。新規入級者が 9 名。
- ・また、LD 等通級指導教室 12 名の内訳は 継続 8 名、新規 4 名。現在は通級の 1 名は自情障学級への変更、終了は 0 名。
- ・ことばの教室に関して、子ども課のことばの相談室を通じて把握する体制ができてきた。
- ・須坂市全体で「ことば」に対する理解が深まってきたと感じられる。
- ・早期改善が図られ、入学前に改善が図られた子どももいる。
- ・4 月から 7 名入級したうち 3 名は終了となっている。

- ・保護者の強い思いもあるが、その子にとって最適な学びの場は何かを十分に保護者と話し合い、合意を取っていく必要がある。
- ・発達障害の診断があり、集団への不適応が見られることから、刺激が少ない場所で落ち着いて学び、自立活動を通して自らの対処方法を身に付けていかれるように自閉症・情緒障がい学級を学びの場としたいと考える児童生徒が加速的に増えている。終了をきちんと目指して学ぶ場であることを踏まえて指導や支援をし、医療や福祉につなぎたい。
- ・インクルーシブ教育について今一度しっかりと考えていく。
- ・早期発見、早期対応、個に応じた適切な学びの場の選択を進めるには、教職員、保護者、地域がインクルーシブな教育や特別支援教育についての理解を図る機会をもち、共に生きる環境をつくっていくことが大切。大きな転機に来ている。

委員：

- ・ことばの教室には外国籍の児童はいるのか？

指導主事：

- ・ことばの教室は、吃音や発音の問題を抱える子どもの訓練・精神の支えの場であるため外国籍の児童への教室ではない。

委員：

- ・教育相談に外国籍児童の子どもは入ってくるのか？

指導主事：

- ・園から外国籍で日本語の困難さを訴える子はあるが、教育相談とは別に支援の場所がある。

委員：

- ・大変なことだと思う。教育相談が増えているのはもちろん、普通学級へ行っても支援が必要な生徒も増えている。算数・数学でつまづきを覚えるなど、授業中の理解度などは小中学校だとバラバラであるため、どういう授業をす

ればいいのかをいつも考えるが、結論が出ない。個々の困難さを見極める力、学習を援助する力を教員がつけていかなければならない。そういう教職員をどう育成するか、学校環境をどう作っていくかを考えると非常に大変と感じる。どこに焦点を当てて授業づくりをするのかなど。インクルーシブは子どもと教員だけでなく、保護者、地域など広い範囲でやっていかなければ達成できない。

教育長：

- ・授業の中で取り組みはあるのか。

指導主事：

- ・小中学校だと中の下くらいの学力に焦点を当てて授業づくりをしている。その授業の時間内で身につけさせたいことを必ず決め、配慮している。わからない子たちを大事にしようと活動してきた経緯が長野県にはあったが、そのデメリットとして上位生を伸ばせなかったという反省点もある。

教育長：

- ・二極化している傾向がある。自由進度などいろいろな形を取り入れるが、全員を一緒に進めていくというのは非常に困難。支援員さんがサポートしてくれているものもある。

(2) 議題

議案第43号 須坂市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

教育長が説明を求め、学校給食センター所長が説明した。

特に質問・意見なく承認された。

議案第44号 須坂市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について

教育長が説明を求め、文化スポーツ課長が説明した。

特に質問・意見なく承認された。

議案第45号 須坂市公民館運営審議会委員の委嘱について
教育長が説明を求め、生涯学習推進課長が説明した。
特に質問・意見なく承認された。

(3) 協議

キャリア教育について 青木 十郎委員
キャリア教育について青木 十郎委員より提言があった。

委員：

- ・高校では25年前くらいからキャリア教育という言葉が使われはじめた。高校では経営者の話を聞かせるという活動をしてきた。いわゆる「キャリア教育」（＝進路指導）の時代もあった。「人間力」を育てるということは非常に重要だと感じる。ベネッセのデータだと親と子供の会話の違いについて、将来や進路のことを話すかということについて、小学生では10年で6ポイント伸びている。家庭のSES（社会経済閾値位）が高ければ高いほど将来の話をするという結果が出ている。小学校などでのキャリア教育の前にまず家庭でのキャリア教育が始点としてあるのではないか。

主任指導主事：

- ・実際須坂市では市内小中学校でしっかりとキャリア教育＝非認知能力育成のカリキュラムができています。学級活動、教科、児童会などの中でキャリア教育をしていこうというカリキュラムができています。実際先生方の理解が深まっているかといわれるとそうとは言えないが、各学校必ずキャリア教育はしっかりと教育の中に組み込まれている。

指導主事：

- ・キャリア教育という言葉を使っているからやっているかということではなく、キャリア教育＝人間関係の強化、自分で考える力と考えると、学園構想の柱とも合致してくる。そういった意味でキャリア教育を見ると、理念として多くの学校や教員が持っている。

(4) 一般行政報告

ア 教育長出席行事の報告について
教育長が説明した。

イ 行事共催等承認の報告について
教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。
17件中14件承認。新規が1件。不承認について3件。

ウ 6月定例市議会の報告について
教育長が説明を求め、教育次長が説明した。

エ その他
なし。

(5) その他

ア 教育委員会行事予定について
教育長が説明を求め、各課長が説明した。

イ 須坂市教育委員会主催・共催大会等への出席について
教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

ウ 教育委員会歓送迎会の開催について
教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

教育長が閉会を宣した。